

# AO入試 I・II概要

本資料は2021年5月1日現在のものです。正式には7月中旬発行予定の「2022年度入学試験要項」にてご確認ください。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

AO入試は、本学での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志す者を対象とした専願制入試である。大学の理念を理解し、その理念を促進、発展させることに貢献できる能力や個性を持つ者の入学を期待する。AO入試 I では、高等学校でのバランスのとれた学習成果を背景に課外活動や資格取得、検定試験などで優れた実績を挙げた者を対象とする。AO入試 II では、本学入学後の専門教育に対する適性と学修意欲を持つ者を対象とする。AO入試 I・II共に、全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

## AO入試 I（活動実績重視型） 専願制

課外活動や資格取得などの活動実績を評価する入試です。

### 活動実績について

評価の対象となる活動実績は、以下の2つの条件を満たすものに限る。

- ① 高等学校在学中の実績である
- ② 出願時に結果が出ている（証明するものが提出できる）ものである

### 〈格付・採点について〉

活動実績は、その分野・内容によって、㉠スポーツ・体育系部門、㉡文化・芸能系部門、㉢資格・検定部門、㉣社会的活動等の部門の4部門に分類し、部門ごとに以下のとおり「対象となる種目」「対象となる競技会」「成績の評価基準」を定め、各種目の成績をA～Cの3段階に格付する（要件を満たさない場合は対象外）。

活動実績は、種目が異なれば最大3つまで申請可能であり、評価対象となる種目が複数ある場合は、本学の「格付組み合わせ基準」により採点する。

### 〈注意事項〉

- ① 次頁に記載した活動実績のみを対象とするが、それ以外にも本学が適当と認めた場合は、評価の対象とすることがある。
- ② 同一種目は、1つしか申請できない（複数申請した場合は、最も格付の高いものを採用する）。
- ③ 同一種目であるか否かは、本学が判断する。

### 〈活動実績に関する問い合わせ〉

活動実績について不明な点がある場合は、2022年度入学試験要項（7月中旬発行予定）に添付されている「活動実績質問用紙」に記入し、郵便またはFAXにて8月25日（水）必着でお送りください。

## ア スポーツ・体育系部門

### ●対象となる種目

陸上競技、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、バドミントン、ソフトボール、レスリング、柔道、剣道、弓道、空手道、なぎなた、ボクシング、ウエイトリフティング、アーチェリー、野球、ゴルフ、スキー、スケート、自転車競技、ヨット、フェンシング、カヌー、登山、ホッケー、相撲、ボート、少林寺拳法

### ●対象となる競技会

- ・ オリンピック
- ・ 国際大会(全国大会を経て日本代表として出場したもの)
- ・ 国民体育大会(全国高等学校体育連盟が対象とする種目に限る)
- ・ 全国高等学校体育連盟が主催する大会
- ・ 日本高等学校野球連盟が主催する大会
- ・ 日本高等学校ゴルフ連盟が主催する大会
- ・ 各ブロック高等学校体育連盟が主催、共催する大会

### ●成績の評価基準

成 績		格 付
国際大会	出場(日本代表として)	A
全国大会	入賞(1-8位)	
全国大会	9位以下	B
ブロック大会	入賞(1-8位)	C

注1) ブロック大会とは、各都道府県大会より上位の大会で、全国大会ではないが複数の都道府県にまたがっておこなわれる大会を指す。

注2) 団体種目と個人種目は同等に扱う。

注3) 団体種目・競技の場合は、申請した各競技会の正規登録選手であることを条件とする。

## イ 文化・芸能系部門

### ●対象となる種目

合唱、吹奏楽、マーチングバンド、バトントワーリング、放送、演劇、文芸、ディベート、スピーチ・弁論

### ●対象となる競技会コンクール

- ・ 全日本合唱コンクール(全日本合唱連盟)
- ・ NHK全国学校音楽コンクール(NHK)
- ・ 全日本吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟)
- ・ 全日本マーチングコンテスト(全日本吹奏楽連盟)
- ・ マーチングバンド全国大会(日本マーチングバンド協会)
- ・ 全日本バトントワーリング選手権大会、バトントワーリング全国大会(日本バトン協会)
- ・ NHK杯全国高校放送コンテスト(全国放送教育研究会連盟)
- ・ 全国高等学校演劇大会(全国高等学校演劇協議会)
- ・ 全国高等学校文芸コンクール(全国高等学校文化連盟)
- ・ 著名な文学賞
- ・ 全国高校生英語ディベート大会(全国高校英語ディベート連盟)
- ・ 全国高等学校英語スピーチコンテスト(全国英語教育研究団体連合会)
- ・ ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会(ECC外語学院他)

### ●成績の評価基準

成 績		格 付
全国大会	個人1位	A
全国大会	個人2位	B
全国大会	個人3位、団体1位、団体金賞	C

注) 団体種目・競技の場合は、申請した各競技会の正規登録メンバーであることを条件とする。

※著名な文学賞受賞の場合は格付を検討する。

## ウ 資格・検定部門

### ●対象となる種目

コンピュータ活用、簿記、珠算・電卓、商業経済、英語、外国語

### ●対象となる資格・検定および成績の評価基準

種目	資格・検定名		主催団体名	格付		
				A	B	C
コンピュータ活用	情報処理技術者試験	応用情報技術者試験	情報処理推進機構(IPA)	取得	—	—
		基本情報技術者試験		取得	—	—
		情報セキュリティマネジメント試験		—	取得	—
		ITパスポート試験		—	取得	—
	情報処理検定試験(部門問わず)	全国商業高等学校協会	—	—	1級	
	ビジネス文書実務検定試験 ※「速度部門」のみの合格は対象外		—	—	1級	
情報技術検定(種目合格は不可)	—		—	1級		
簿記	日商簿記検定	日本商工会議所	1級	2級	—	
						簿記実務検定試験(科目合格は不可)
	珠算・電卓	珠算能力検定	日本商工会議所	—	1級	—
		珠算・電卓実務検定試験(部門合格は不可)	全国商業高等学校協会	—	—	1級
		商業経済検定試験	全国商業高等学校協会	—	—	1級
英語	実用英語技能検定(方式問わず)		日本英語検定協会	1級・準1級	—	2級
	IELTS™(アカデミック・モジュール)			5.5以上	4.5~5.0	—
	英語検定試験		全国商業高等学校協会	—	—	1級
	リスニング英語検定		全国工業高等学校長協会	—	1級	2級
	TOEIC® Listening & Reading Test ※IPテストは不可		国際ビジネスコミュニケーション協会	600点以上	490点~595点	—
	TOEFL iBT®		ETS (Educational Testing Service)	61点以上	48点~60点	—
	ケンブリッジ英語検定		ケンブリッジ大学英語検定機構	B2 First/ B2 First for Schools	—	B1 Preliminary/ B1 Preliminary for Schools
	国連英検		日本国際連合協会	B級	—	C級
	GTEC(CBTタイプ、検定版) ※オフィシャルスコアに限る		ベネッセコーポレーション	1140点以上	1000点~1139点	—
外国語	中国語検定試験		日本中国語検定協会	1級	準1級・2級	—
	HSK(漢語水平考試)		中国政府教育部	6級・5級	4級	—
	「ハンゲル」能力検定試験		ハンゲル能力検定協会	1級	2級	準2級
	韓国語能力試験		韓国教育財団	6級・5級	4級・3級	2級

注) 上表以外は、原則対象外である。

## エ 社会的活動等の部門

### ●対象となる種目

社会的奉仕活動、生徒会活動

### ●成績の評価基準

#### (1) 社会的奉仕活動

次の①~③のすべての条件を満たしていることとし、活動内容に応じて本学が格付する(格付C)。

- ① 個人が主体的に活動していること、または、社会奉仕を目的とした団体に個人で参加していること(教育の一環として高等学校がおこなっている授業、課外活動、クラブ活動、ボーイスカウトなどは対象外)。
- ② 定期的(月1回程度)に活動しており、かつ活動期間が1年以上継続していること。ただし、海外での活動は社会的奉仕活動に実際に携わった日数が10日以上であること。
- ③ 活動内容に関する第三者または対象者の認定があること。

※社会的奉仕活動の格付は、できるだけ事前に確認してください(1ページの「活動実績に関する問い合わせ」参照)。

#### (2) 生徒会活動

生徒会会長のみを対象とする(格付C)。生徒会会長以外は評価の対象としない。

## 選抜方法・配点について

選抜方法	試験時間	配点	満点
活動実績票	—	100点	200点
調査書 [学習成績の状況]	—	20点	
日本語活用能力試験	30分	30点	
個人面接	—	45点	
志望理由書	—	5点	

日本語活用能力試験は漢字、熟語、慣用句などの日本語の活用・運用能力を測る基礎的な問題です。

※『入試問題集2022 [AO入試Ⅰ・AO入試Ⅱ・公募制推薦入試]』を参考にしてください。

## AO入試Ⅱ〔学科・専攻適性重視型〕 専願制

入学後の専門教育に対する適性および学修意欲を問う入試です。

### 選抜方法・配点について

選抜方法	試験時間	配点	満点
調査書 [学習成績の状況]	—	20点	100点
学科・専攻別適性試験	60分	40点	
面接	—	35点	
志望理由書	—	5点	

#### 〈学科・専攻別適性試験〉

大学入学後の各学科・専攻での専門教育に対する適性を問うものです。

文章を読み、自分の考えを記述するものや、資料やグラフについて分析するものなど、内容は学科・専攻ごとに異なります。

※『入試問題集2022 [AO入試Ⅰ・AO入試Ⅱ・公募制推薦入試]』を参考にしてください。

#### 〈面接〉

大学入学後の各学科・専攻での専門教育に対する適性や学修意欲を問うもので、面接方法は学科・専攻ごとに異なります。

学科・専攻	面接方法
国文学科／心理学科／言語聴覚学専攻	個人面接
総合英語学科／教育学科／人間情報学科／創作表現専攻 メディアプロデュース専攻／建築・インテリアデザイン専攻 視覚科学専攻／スポーツ・健康科学専攻／救急救命学専攻 健康栄養学科／社会福祉専攻／子ども福祉専攻／ランゲージ専攻 国際交流・観光専攻／現代ビジネス専攻／グローバルビジネス専攻 グローバル・コミュニケーション学科 (英語での質問を含む)	集団面接 内容は個人面接と同様、 ただし複数の受験者が 合同でおこなう

#### 【面接の主な質問と評価のポイント】

- (1) 当該学科・専攻で学びたいという十分な意欲・動機があるか。
- (2) 自分の考え方を論理的に説明できるか。
- (3) 当該学科・専攻で学ぶにあたって必要な関心事項や基礎的な知識があるか。
- (4) 当該学科・専攻のアドミッション・ポリシーを十分に理解しているか。